

新図書館に向けて聴取した意見について

1. 平成 28 年度 市政アンケート

- (1) 概要 実施期間：平成 28 年 7 月 27 日～8 月 10 日
実施対象：18 歳以上の市民から無作為に選んだ 5,000 人
回 答：有効回答者数 1,728 人、有効回答率 34.6%
(自由回答のうち図書館に関する回答：27 件)

(2) いただいた主な意見

【新図書館に対する期待】

- ・自慢できる図書館を建ててください。将来ある子ども達のために早く実現して欲しい。
- ・新図書館が出来ると知り、とてもうれしく楽しみにしています。
- ・おおむね満足しているが、児童館や図書館など、もっと数が増えればよいと思うことがある。
- ・市立図書館の改築は 10 年前から問題となっていて、アンケートを実施し、85%以上の方からの早期の改善を求める要望や、市民団体からの提案もあったが具体化しなかった。今頃になって市役所の隣に建設する計画ということだがもっと計画的に取り組んで欲しい。
- ・図書館が古い。小さい子がいるが連れていきたいとは思えない。

【立地について】

- ・中心市街地活性化のため、図書館建設と諏訪公園整備を進めてください。
- ・中心市街地内に新図書館を設置していただきたい。
- ・菰野町や東員町のように行政機関に隣接させると利用者にとって利用しやすい。
- ・図書館などの公共施設、医療関係施設などに誰もが訪れやすいまちにして欲しい。無理に都市化せず地域に見合ったものを望む。
- ・駅にもっと近くて学生が利用しやすい場所と、郊外型の駐車スペースの広い一般利用者向けのものといったように、新しい図書館は 3 つに分けても良いと思います。
- ・市役所前に移設する案もある様ですが、あの場所では少々狭くありませんか。駐車スペース確保の点から非常に不安です。現在の図書館近くの公園は必要でしょうか。あの一帯を上手に使えば何とかかなりそうな気がする。
- ・新しい図書館は利用者がたくさんいる市街地にこだわらず、空地を探し、現在より手広い所に設置する。ドームのような中途半端な物でなく立派な図書館を望む。

【図書館の規模・駐車場等について】

- ・図書館をもっと大きく充実したものにしたい。(現在は駐車場が狭い。本や机も不足している)
- ・市内で生活するにはバスが充実していないので、車が欠かせない。公共施設での駐車場の少なさにとても不便を感じている。

【図書館へのアクセスについて】

- ・四日市港－JR 四日市－市役所－近鉄四日市（あすなろう）－市立図書館－市立病院を路面電車で結ぶ。
- ・交通などの図書館へのアクセスも考えて欲しい。
- ・高齢者が、車がなくても利用できるように無料バス等を走らせて欲しい。
- ・市立図書館がとても不便に感じる。他の地域では規模の大きい、誰もが気軽に行きやすい図書館が出来ている。

【開館時間について】

- ・開館時間や開館日を増やして欲しい。
- ・市立図書館をよく利用しているが、閲覧スペースや開館時間など、他市に比べて見劣りする。特に平日でも 19 時までというのが煩わしく、調べものなどをするとき、桑名市まで行って利用している。

【ソフト面での取り組みについて】

- ・充実した図書館、美術館や学術的イベントを多彩に開催することを望む。
- ・四日市の範囲が狭い為、よりきめ細かいサービスが必要かとも思う。

【館内での飲食について】

- ・飲食しながら読書する来館者が多すぎる。また、市外にはペットボトルなどこぼさないものであれば良いという図書館もあるが、これは図書館の自殺行為である。飲酒禁止を徹底させ、職員の巡回と注意を徹底させるよう苦言を呈しておく。

2. 声のポスト（市立図書館内に設置）

（1）概 要

設置期間：平成 28 年 1 月～現在 / 実施対象：四日市市立図書館の来館者
回 答：65 件

（2）いただいた主な意見

【立地について】

- ・新しい図書館建設の話が出ているとのこと、喜ばしいことと思います。
- ・新しい図書館ができるらしいのですが、今のこの図書館は窓も大きくシンプルで安らぎ、落ち着きがあり、とても気に入っていて、職員の対応も気軽にさせていただける優しさがあり安心できます。こちらに残していただけるととても嬉しいです。
- ・市役所あたりへの館移転の話聞いた。現在のこの場所に一部でも残して欲しい。絶対に“0”にはしないで下さい。自転車でも遠いのは困る。規模を半分にしても残して欲しい。
- ・市役所の所は狭くないか。
- ・久保田公園に仮設書庫を設置しての建替を望む。遠くなるなら、今のままのほうがいい。
- ・無い本は取り寄せてくれるし今の図書館のままでいい。
- ・家から遠くなるので図書館移転反対。市役所まで行けない。本を奪わないで欲しい。
- ・庁舎東側広場のような低い土地に建てて、災害の時は大丈夫なのか。貴重な資料が水でだめになったらどうするのか。
- ・駅より海側に建てるなどだめです。子どもの多い常磐地区の子たちが行きにくい場所への移転は反対です。

【図書館の規模・駐車場について】

- ・利用者に応じたスペースの確保（乳幼児連れの保護者・学生・一般利用者など）に伴い、机やイスなどの配置・材質・館内での場所の配置などを考えて欲しい。
- ・本棚の間隔、読む場所の広さ、ゆっくり落ち着いたらと思う。
- ・市民が行き易いような場所、特に駐車場の確保・増設（無料が望ましいが最低 2 時間無料としてほしい）
- ・赤ちゃん・子ども連れのお母さんが乗り降りしやすいように屋根つき駐車場を望む。
- ・子どもを乗せやすいようにスペースに余裕がほしい。
- ・市営駐車場は狭いし混雑するので使いにくい。くすの木パーキングから重い本を持って歩くのは、特に雨天時など困る。足腰が弱ってきたので、地下から階段を上がるのは辛い。老人にも小さな子連れの親にも使い易い、広くて安全な駐車場が欲しい。
- ・駐車場が有料になると困ります。無料でないなら移転に反対します。
- ・岡崎市のような 2 階建てのゆったりした複合型図書館を望む。2 階建てより高いのはだめ。エレベーターやエスカレーターがあっても、上の階へ行かない。横方向・平面に広い図書館が、本と人との出会いをもたらす。

【開館時間について】

- ・開館は昼過ぎでも良いが、閉館を午後 8 時くらいにしてほしい。
- ・夜 9 時まで開館して欲しい。

【ソフト面での取り組みについて】

- ・レファレンスサービスを充実させてほしい。
- ・司書をはじめとするスタッフの充実を望む。司書の数を増やして「ちょっと」の質問に応じてもらえるとう嬉しい。
- ・現状のサービスを維持しつつ、東橋北の子ども施設等とも横の連携を取れた館を望む。

- ・映画が見たい。
- ・日経新聞などの有料DBにもアクセスできるようにしてほしい
- ・教育的なDVDやCDの貸し出しに期待したい。落語、浪曲、なつメロ等は介護施設の方にも喜ばれる。
- ・近頃はやりのにぎやかな図書館、人集めの図書館というのはやめて欲しい。遊ぶ場所なら他にもある。せめて図書館だけは落ち着ける場所であってほしい。また、飲食しながら、というの、もってのほかで、公共の本を大切に扱うという姿勢はつらぬいて欲しい。
- ・民営化されるのはどうかと思う。

【館内での飲食について】

- ・食堂が欲しい
- ・建物の外に出なくても飲食ができる施設があると便利である。

【コーナー・設備の充実について】

- ・書庫入りの本を開架にしてください。今まで知らなかった本も、書棚に並んでいればこそ、新しく出会えるものです。
- ・手の届く位置（本）探しやすい配置にして欲しい。特に幼児と高齢者に視線を合わせた”優しい図書館”が欲しい。
- ・荷物を入れるロッカー（鍵付）、ロッカールームが欲しい。
- ・電卓が使えるスペースの拡大（税理士・公認会計士受験者のため）
- ・四日市をはじめ三重の歴史に関するコーナーの充実。もっと広く多くの方が地域の歴史に興味持てるコーナーや講座があると良いと思う。
- ・授乳、オムツ替えスペースが欲しい。
- ・子供が遊べるスペース（お茶とかOKなカフェのようなスペース）
- ・マンガコーナー（ゴルゴ13全巻）が欲しい。
- ・パソコンコーナーのパソコン数を増やしてほしい。アクセス制限も緩和して欲しい。
- ・トイレにハンドドライヤーを付けて欲しい。
- ・トランポリンが欲しい。
- ・かまぐらのところを寒くしてほしい。

【蔵書について】

- ・おもしろい本や0才向けの本など多様な本がたくさん欲しい。
- ・もう少しきれいな本が良い。（少し汚れが目立つ。借りる方にも問題があるかもしれません。）

【意見の聴取について】

- ・市民向けの説明会をしてください。
- ・計画意見は順次広報等で風通しよくするべきでは？

3. 新図書館に向けての図書館職員アンケート

(1) 概 要

実施日時：平成 28 年 1 月 1 日 / 実施対象：市立図書館に勤務する司書など職員 29 人
回 答：153 件

(2) 意見のすべて

【開架書架について】

- ・利用者がいちいち資料請求しなくても本が選べるように開架の本の数を増やしてほしい。
- ・一般成人室・一般閲覧コーナーの書架が高く、整頓に不向きである。地震の際に危険で本も見にくい。背の低い人にも手が届きやすいよう低い書架にする。
- ・書架の間の通路が狭く、車イスやベビーカーだと通りにくいのもう少し広げて欲しい。
- ・後ろに本が落ち込まない書架にする。
- ・どの棚も本がぎっしりと詰まっている。面出しなどが、所どころできるようにしてほしい。
- ・書架について最下段を少し底上げした高さにしたい。
- ・雑誌コーナーの書棚の扉が重いので、手をはさんでも危なくないよう軽くしてほしい。
- ・ビジネス支援など特集コーナーよりも、関連する図書の各配架場所を案内するチラシにする。
- ・分類表示がわかりにくい。パッと見て大体の分類がわかるとよい。

【書庫について】

- ・カウンター付近に作業スペース確保する。
- ・セット貸しの本を保管できる場所を確保する。
- ・図書館業者が利用者スペースを通らずに来る動線を確保する。
- ・書庫は今と同じく広くて頑丈なものが必要である。
- ・請求を受けて 3 層まで行くのは時間がかかり、きつい。
- ・アイリスで検索の際、1 層に戻るのが大変なので各層に端末を置いて欲しい。
- ・書庫、自動車文庫書庫ともに安全なものにする。
- ・ブラウジングできることが重要であり、公開型閉架書庫あるいは閉架書庫を最小限にする。

【一般成人室について】

- ・請求記号の数字を書架の大きな数字を見て探している来館者をよく見かけるので、案内があればよい。
- ・幅広く、奥行き深い学びを提供すべき。蔵書数 100 万冊を目指すべき。

【児童室について】

- ・おはなし会や読みきかせができる、囲まれた広いスペースが欲しい。
- ・改修工事でイメージアップしたが、まだ書架も席も足りない感じがする。
- ・中学生が児童室で学習するのは嫌なのではないか。
- ・カウンターが入口ではなく児童室へ向いていたらい。子どもたちの様子に目が行き届き、質問もしやすくなる。また、もっと広く、明るくして、いつもレファレンス研修を積んだ職員がいるべきである。
- ・学習の本は、高校生、大学生、大人でも手に取りやすい配架とし、閲覧室の造作や書架デザインも抵抗感を少なくしたい。
- ・児童室の「学習の本」は、「YAの本」と一体化にした書架構成も検討すべき。
- ・授乳室・ベビーコーナーの設置を望む。

【視聴覚ホールについて】

- ・テーブル付きのいすが、とても重く扱いづらい。

- ・色んなライトが使えるとよい。
- ・講演会、読書会等、図書館の企画行事を実施するため、100～200 人程度が入れるホールを図書館内に確保したい。
- ・プロジェクター(天井付け)、スクリーン兼ホワイトボード、音響設備、ワイヤレスマイク、補聴用磁気ループ等が必要である。

【研修室について】

- ・ボランティアが読み聞かせの練習をしたり、小物を用意したりできる部屋を確保したい。
- ・中高生のボランティア等が増えても対応できるスペースは確保したい。
- ・複数のグループが同時に別の机で打ち合わせでき、図書や小物を置けるロッカー等を望む。

【会議室について】

- ・部屋数を増やしてほしい。図書館行事などがたくさん入ってくると、団体の利用を断る時がある。
- ・いろいろな形に変えられるように、長机を中心においてほしい。
- ・ボランティアが利用しやすいようにする。

【学習室について】

- ・図書貸出とは無縁な人もいて、図書館と関連性ができるもの、あるいは全く別物とする。
- ・もっと職員の目がなければ危険である。
- ・図書館なので、調べものをする学習室はともかく、充実させる必要があるのか疑問である。
- ・学習室の充実。夏休みは、学習室の席数が不足し、閲覧席で学習する人が出てしまう。
- ・学校教育、社会教育として図書館が担い、就労・自立支援にキャナル席を増やしたい。
- ・テーブル席で仲間・グループと会話しながら利用でき、図書閲覧室や個人学習室とは分離したい。
- ・個人学習室を図書館から分離する。

【点字録音資料室について】

- ・点字録音資料や作業室を使いやすい間取りにする（動線を考慮するなど）。
- ・独立しているのではなく、一般成人の隣などにあってもよい。点字資料や録音資料は、一般図書と同じ空間に並べると、視覚障害者等の存在に気づき、考えてもらうきっかけになる。
- ・読み上げ機能や読み上げ箇所表示機能がある電子図書も点字資料や録音資料の近く、一般閲覧室に配置したい。
- ・利用対象者を障害者手帳保持者だけでなく、関心のある全ての人に拡大したい。（ボランティア、福祉を学ぶ学生など）
- ・点字やデジターのパソコンにインターネットをつなげてほしい（作業に必要）。

【地域資料室について】

- ・配架スペース、閲覧机が狭い。また、資料が増えるので、かなり余裕をもって作るべきである。
- ・地域資料室でのレファレンスでも、1 F 参考・成人・児童を見たいことがあるが、持ち場を離れにくく、利用者に言いづらい。
- ・現在の図書館は、地域資料室とその書庫とが隣接し、書庫の棚を眺め、本を参照できる。
- ・市民センターやエッセイコンクールなど市主催のチラシ・パンフの棚とスペースが欲しい。
- ・地域資料室と郷土作家コーナーを一緒にする。また、夏休みに使いやすいようにする。
- ・書籍の痛み（特に児童の使用頻度の高い書籍）があるので、貸出は複写したものにする。
- ・学校と協力する。学校が課題を出すとき、事前連絡を受けて、複写したものを送る。
- ・図書館にも教科書を展示する。
- ・四日市地域のことは何でも分かる情報センターを目指したい。多様な媒体の地域情報を収集・整理して検

索可能としたい。

【事務室について】

- ・電話、PC 共にもっとあれば助かる。
- ・ブックトラックを置いて、人の通行の妨げにならないスペースがあるとよい。
- ・カラー印刷が混み合うことがあるので、もう 1 台あるといい。
- ・カウンター裏などにしてほしい。
- ・ブラウジングした上で購入する図書を決めるスペースが必要。
- ・職員用のパソコンにすべてにアリス、イラストレータ、フォトショップ等を導入する。仕事をスムーズにし、やれる事、クオリティの向上が目的。

【郷土作家コーナーについて】

- ・もう少しオープンな感じがよい。
- ・郷土作家の基準が明確ではない。もう少しスペースを広くして本を増やしたい。
- ・四日市市を描いている内容や、関連する地域資料を案内する解説板が必要である。
- ・市民作家、地域の文芸誌に投稿された文章や詩歌や自費出版の本も地域資料である。

【参考図書コーナーについて】

- ・目が届かないので、何をしているか分からない。
- ・インターネット、文献コピー、レファレンス、有料データベースを隣接して設けたい。

【雑誌コーナーについて】

- ・一番上は高すぎて取りづらい。
- ・バックナンバーを取り出すとき、ボードが重い。
- ・取扱点数を大幅に増やしたい。

【新聞コーナーについて】

- ・新聞閲覧コーナーに 2 ヶ月分の新聞が置けるとよい。
- ・閲覧需要の多い過去 3 ヶ月程度は開架書架で閲覧できるよう、十分な配架場所を設けたい。
- ・吊り下げる台がボックス型なので、出し入れで新聞の上下部分が傷みやすい。
- ・当月バックナンバーが重くて占有率も高く、取り出すと綴じにくいので、バラで置く、週単位の棚に置いてはどうか。
- ・本紙、縮小版など、すべて一部屋で見られるといい。

【インターネットコーナーについて】

- ・調べものに使いたい人が気軽に端末を使えるような工夫をする。
- ・PC 同士の間が狭く、音やプライバシーが気になり、隣の人と席を離れたほうがよい。
- ・手荷物置場がない。後ろから丸見えである。
- ・ゲームや動画が本当に必要か少し疑問である。「調べもののためです」ときちんとしてアピールする。
- ・他館で使われているフィルタリングソフトを調べて、ゲームには使えないようにしたい。

【展示コーナーについて】

- ・展示スペースの増加。
- ・展示物が傷まないスポット照明があってもよい。
- ・ガラスケースの移動が大変。
- ・照明を工夫して見やすくしてほしい。もっと人が来る場所にしてほしい。

- ・開架書架の隣で、様々なテーマの図書を集すべきである。
- ・市民出展の展示ケースを貸し出す。小さな展示をすることで利用者の活性化、新規利用者の発見になる。

【スナックコーナーについて】

- ・飲食スペースを屋外にして、テラスなどで話したりできるスペース。
- ・パン、お菓子の自動販売機も設置したら便利である。
- ・明るくキレイなカフェのような空間になれば、満足度も上がる。
- ・飲食コーナーと同じ空間に置いたら、リサイクル図書と組み合わせる。

【閲覧席について】

- ・いすは汚れが染み込みにくい材質がよい（県立図書館にある木のいすは座りやすい）。
- ・読書できる、ゆったりとしたソファやイスがあるスペースが必要である。
- ・長机に個人単位で仕切りを設けたい。
- ・車いす専用のスペース、利用しやすい机を設ける。
- ・時々、Wi-Fi 設備がないか聞かれる。

【対面朗読室について】

- ・対面読書スペースでなく、対面読書専用の部屋が必要である。
- ・在室者の有無がわかる程度にして、利用者の顔があまり見えないようにしたい。
- ・対面朗読以外に、介護者がやや大きめの声で読んでも良い部屋にしたい。

【印刷室について】

- ・大型のカラープリンタが欲しい。（A1 とか刷れるもの）
- ・利用手続き書類、関係施設等への連絡書類等の印刷を迅速に行うため、館内に必要である。

【倉庫について】

- ・リサイクル本など大量の本を一時的に置く倉庫や棚が確保されると安心である。
- ・ブックトラックの収納スペースが要る。

【デイジー室について】

- ・防音・音響設備が整った部屋を用意したい。
- ・デイジー室を独立して、防音の録音室がほしい。

【その他新規に設けたいスペースについて】

- ・放課後、夏休みなど子どもたちだけでも安全安心に過ごせる場所。
- ・子どももお母さんも交流でき、子育ての悩みなどを話せる。
- ・1階に休憩（飲みもの可）ができる場所がほしい。
- ・気分が悪くなった人が休むスペースが必要。
- ・視聴覚機器の視聴スペース。
- ・DVD、ブルーレイなどのAV鑑賞ブース。
- ・読書交流スペース（書籍に関し意見や感想の交換など、音声が漏れない部屋）。
- ・市民文化グループの発表スペース。
- ・学校教育活動の紹介スペース。
- ・ボランティア団体の待機室がほしい。

- ・携帯電話スペース。
- ・新刊図書を受け入れたり、工作したり、ブッカーを貼ったりする作業スペースがほしい。

【カウンターについて】

- ・レファレンス（長時間）、利用者登録受付、予約受付、資料検索（短時間）を混在して受け付けているため来館者を待たせる。レファレンス専用、予約専用など、カウンターを分けて混雑を緩和すると良い。
- ・カウンターの手前に、銀行 A T M にあるような荷物台が必要である。
- ・カウンター内の床面が高く、業務の際に腰へ負担が大きいので、床高を低くしてほしい。
- ・カウンターの幅を広くして、利用者との適度な距離をとりたい。
- ・レファレンスカウンターは、貸出・返却カウンターから独立させたい。

【予約本棚について】

- ・予約本の書棚や専用電話を含めた予約本スペースが必要である。
- ・予約連絡の電話は、声が周りに聞こえるので、カウンター以外でできるようにしてほしい。

【OPACについて】

- ・立って使う、イスなしの OPAC を半分くらいにしてほしい。
- ・OPAC のレシートまたは検索時に、書架の位置がわかるとよい

【自動貸出機について】

- ・自動貸出機を増やして、混雑時に利用できるようにしてほしい。
- ・自動貸出機のエラーがよく出るので、精度が高くなるとよい。
- ・入口から離れたほうがよい。

【盗難防止設備・安全管理について】

- ・誤作動が多いので、精度の高いものに代えるか、磁気探知でないシステムにする。
- ・2階一般閲覧コーナー、3階学習室など、職員の目が届かない場所が多いので死角をなくす。
- ・防犯ベルを設置する

【資料複写について】

- ・コピー機は、上から資料を押さえなくてもできるタイプのものも欲しい。
- ・フロアが分かれるなら、複写受付は何か所か欲しい。

【図書用カートについて】

- ・買いものカート（本を乗せる、手押し車のかわり）。
- ・借りた本をカートで運べると便利。
- ・図書貸出用のカート。

【拡大読書器について】

- ・目立たないので目立つように配置する。
- ・デジタル式よりレンズで拡大するアナログ式がよい。

【冷水器について】

- ・清潔か疑問である。

【床・昇降設備について】

- ・入口付近にエレベーターが必要。
- ・エレベーターは、正面か中央に欲しい。
- ・館内のエスカレーター、エレベーターが必要。
- ・カーペット敷きとしたい。
- ・階段の防音。

【新たに実施したいサービスについて】

- ・講演会、勉強会などの機会をもっと増やしてほしい。
- ・有料データベースをできるだけ多くを導入し、参考図書コーナーの近傍に閲覧用パソコンを、余裕を持って配置。
- ・タブレット端末を貸し出してインターネットでの資料提供も必要か。
- ・借りている本のレシートを自分で印刷できる機器があったらよい。
- ・返却ポスト（ドライブスルー可、開館時間可）。

【館外別置について】

- ・なくす。
- ・基本的に廃止だが、現在の図書館を館外別置、自動車文庫も一考である。

【自動車文庫・車庫について】

- ・移動図書館車に載せる図書を選定する際に、司書がブラウジングできる書庫が必要であり、自動集密書庫では選べない。
- ・ピット兼車庫だと、朝の移動がいらぬ。
- ・宅配ではブラウジングができない。自動車文庫の貸出期間を本館と同じにし、移動図書館車 4 台分の車庫を確保したい。

【駐車場・駐輪場について】

- ・駐車場の充実が必要。
- ・明るくて広くて置きやすい自転車置き場があるとよい。

【庭園について】

- ・ライオンズ庭園のような空間が引き続き欲しい（自然観察会などに更に活用する）。

【蔵書・司書について】

- ・課題解決支援に対応する専門的な図書も蔵書とし、それらを使いこなせる司書が必要。

【立地について】

- ・年配の人や子供も安全に通える立地であるとよい。

【アクセスについて】

- ・低料金のコミュニティバスの運行。

【動線について】

- ・館内の動線の確保。今のような 2 分割された 2 階は大変。各部屋の動線をスムーズに。

【現図書館の活用について】

- ・ 現図書館を分館などとして再利用する。

【企業の協賛について】

- ・ 雑誌購入への企業の協賛

4. 学校図書館の現状と市立図書館との連携

1. 学校図書館への司書の配置

四日市市では、「学校図書館いきいき推進事業プラン」に基づき、市内の小・中学校 60 校に週 1 日以上、学校図書館司書を配置し、授業支援・家庭読書支援の充実、また各学校の司書教諭や図書館担当者、図書ボランティアの活動を支援している。

2. 学校図書館と市立図書館との連携

(1) 「なのはな文庫」(市立図書館学校団体貸出図書)の貸し出し

子どもたちが図書に親しむ環境を整えるため、市立図書館の蔵書で構成された「なのはな文庫」を各学校へ貸し出し、子どもたちの手の届くところに本がある環境づくりの充実に取り組んでいる。

(2) 自動車文庫の学校訪問

依頼があった学校に、市立図書館自動車文庫が訪問している。子どもたちは、実際に自動車文庫の図書を手に取り、たくさんの本に触れられる機会となっている。また、図書館司書が市立図書館の使い方を説明したり、読み聞かせを行ったりして、子どもたちに読書の楽しさを伝えている。

(3) 市立図書館の司書による勉強会等の実施

学校で活動する図書ボランティアや保護者に対して、絵本の読み聞かせのコツや絵本の選び方などの勉強会や講習会を実施している。